

# 日刊 動労千葉

81.8.1

No.810

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五(六)公衆(留三三)七二〇七



7月31日、六名の仲間が元気に出獄した。

三里塚・ジェット闘争貫徹「国鉄35万人体制」粉砕

# 完全非転向 6名を貫き

## 片岡支部長、吉岡青年部長、篠塚君の三名への 不当起訴を弾劾する!

全組合員の皆さん。全県下、全国の闘う仲間の皆さん。わが動労千葉は、昨日七月三十一日、動労「本部」反動分子の告訴・告発によって不当逮捕されていた六名の仲間を奪還した。六名の仲間は、去る七月一五日早朝の不当逮捕以来、十七日間、警察検事の一日七、八時間に及ぶ厳しい取調べに対し、仲間を信じ、動労千葉の闘いに確信を持ち、「本部」反動分子に対する憎しみと怒りをもやし、非転向・完全黙秘の闘いを貫徹した。

われわれは、この六名の完全の闘いを先頭に津田沼支部の総決起、「三〇」組合の総決起行動をかちとり、敵の狙った「転向の強要」動労千葉破壊「の」もくろみを完全に粉碎した。この間、全県下、全国からよせられた数多くの仲間、労組・団体の皆さんからの激励に心から感謝申し上げます。わが動労千葉は、今こそ、労働組合の名をもって労働者を権力に売り渡す動労本部反動分子一掃・動労大改革へ大攻勢に打って出る決意である。共に前進しよう。

まず、重見・深見・小倉の三君を奪還

千葉地検は、勾留期限の切れる三十一日、午前十時、六名の仲間に対する処分を決定した。片岡支部長吉岡青年部長、篠塚君の三名に対しては、嶋田誠、斎藤吉司らのアッチアゲ証言のみをもつて、不当にも起訴し、重見書記長、深見、小倉両執行委員にたいしては当然にも不起訴としたのである。この決定が、弁護団より知らされ、登すぎにも不起訴となった重見、深見、小倉の三君の釈放が待ちこがれることが各支部に伝わる。

十二時四十五分、千葉刑務所正門前で各支部・友対同盟・長谷川たけさんら約三〇名は拍手で迎え、三名の仲間が元気で合流。「よくやった」「ご苦労さま」「つぎつぎと握手と拍手の中を動力車会館に向かう。」「さつとく十三時半過ぎから、」「重見・深見・小倉君を歓迎し、

会が開催された。津田沼・千葉転募張蘇我成甲・佐倉など近くの支部から約百名の仲間がかけてくる。関川委員長のあいさつに続いて、完全で闘いぬいた三名の仲間から「つぎつぎ」と「連日の激励に感謝します。②完全で闘いぬいたのも組合員の支持があったからです。③私たちが権力に売った動労「本部」を断じて許さない。④嶋田誠や「本部」派の連中の類を思い浮かべて「絶対に敗けられない」と闘いぬいてきた。⑤「本部」派を一刻も早く一掃・粉碎するために闘う。」との決意表明が行なわれた。つづいて、友対同盟の長谷川たけさん、中野書記長のあいさつ、各支部代表のあいさつを受け、残る三名の早期保釈「本部」反動分子一掃・動労大改革へむけて、全体で闘いぬくことを確認して終った。

片岡・吉岡(一)・篠塚君の保釈をかちとる  
弁護団の強力な取り組みによって、不当にも起訴された片岡、吉岡(一)、篠塚三君の保釈が十八時からとられた。千葉刑務所前で、津田沼をはじめ各支部の仲間たちにもかえらる。そして十八時三十分すぎより、歓迎集会が盛大に開催された。関川委員長のあいさつ、この間、昼夜を問わず弁護活動に取組んでいただいた弁護団を代表して菅野・市川両弁護士からのあいさつ、つづいて完全で闘いぬいた片岡、吉岡(一)、篠塚の三名の仲間から「嶋田誠の類を思い浮かべて闘いぬいた。」「今後も皆さんと共に闘う。」との決意表明が行なわれた。最後に、西森法対部長、中野書記長、各支部代表のあいさつを受けて終った。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!